

大仙市アーカイブズ ニュースレター 第21号



大仙市マスコットキャラクター
まるびちゃん

所蔵資料展 渡部分水家資料 を開催しています！

南檜岡地域(旧南外村)で代々肝煎(村の代表)や村長をつとめていた渡部分水家から、令和3年度に寄贈された資料を紹介しています。

中世から檜岡城の城下として発展した檜岡郷を基盤とする南檜岡村は、江戸時代には北檜岡村(旧神岡町)を親郷とする秋田藩の支配下に置かれていました。

渡部分水家はその中で、近世から近代にかけて村の中心的役割を担い、村の経営や近代文化のさきがけとなる新しい時代の活動に関わった記録を多く残しています。

これらの資料のなかから、南檜岡地域が置かれた地理的特徴や、近代以降に花開いた新たな時代の息吹を感じる資料にスポットをあて、身近な地域の魅力発見に繋がる資料を展示しています。ぜひご来場ください。



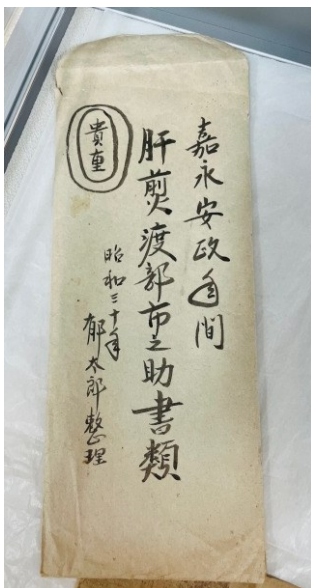
所蔵資料展「渡部分水家資料」

期間：6月18日(火)～8月31日(土)

※日曜・月曜・祝日は休館

会場：大仙市アーカイブズ展示室 2

渡部分水家資料をご紹介します！



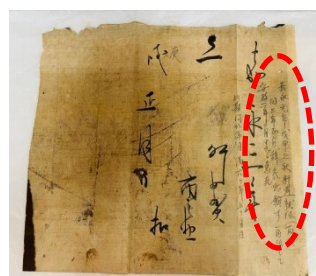
昭和30年に郁太郎が古文書を整理したことを記した封筒

“偶然” 渡部郁太郎 古文書を発見す

南檜岡村長を勤めた渡部郁太郎は、村長を辞職したあと、昭和23～24年ごろに古屏風の破損を直すため裏張りを剥がしてみたところ、中張りから何やら古い書付らしきものが出てきたそうです。

その古文書を郁太郎は昭和31年頃にかけて整理をし、発見の詳細のメモを残しています。

今回展示している古文書にも鉛筆書きで解読等が書かれているので、ぜひ確認してみてください！！



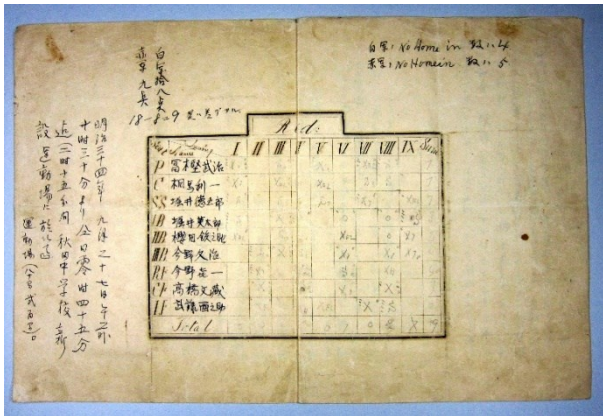
鉛筆書きで解読等が書かれている箇所

(古文書以外も展示しています 次のページに続く)

秋田県最古の野球スコアや大正時代のバットを展示しています

南檜岡地域と野球の関係については、明治29年～34年まで南檜岡小学校に勤務し、野球を研究・指導した桜田鐵之助によって始まったとされています。

桜田鐵之助は、教育に野球を取り入れた秋田県における第一人者でした。そこで一緒に野球を普及した富樫武治が、その後、神宮寺で少年野球発展に尽力しました。



県内最古の野球スコア（明治34年）



渡部郁太郎が秋田中学時代に使用していたバット（大正頃）

イベントと瓦版

（QRコードからメール又はお電話で申込ください）

アーカイブズ講座

明治の新しい時代と南外地域

- ・日時：7月18日（木） 午後1時30分～午後3時
- ・場所：大仙市アーカイブズ 研修室

渡部分水家の記録から明治青年たちの歩みを読み解く講座です



夏休み子ども講座

なるほど！かんたん！くずし字講座

- ・日時：7月25日（木） 午前10時～午前11時30分
- ・場所：はなび・アム 大研修室
- ・対象：小学4年生から中学3年生まで（親子参加OK）



ご来館ありがとうございました

・西仙北小学校3年生（5月14日）



・秋田大学（5月31日）

